

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2025年7月10日発行 第109号 1部100円 <https://chiba.gekijou.org/>



大人の意識が変わった瞬間を たくさん見てきた！



子どもの笑顔と子どもの声で大人を変える。0歳からの子どもには大人を変える力がある

すべてのこども・若者が幸せに育ち、生活していくことができるような社会の実現をめざす「こども基本法」「こども大綱」を受けて、県や市町村では「こども計画」を策定し、動き出しています。子どもの権利の尊重が明記され、当事者（子ども・養育者）の声を聴いて施策に活かすということが重要視されています。

県内で唯一「千葉市こども・若者基本条例」が4月に施行され、子どもの権利に関する相談・救済の申し立てができる「こども権利救済委員会制度」が明記されたことは、画期的なことです。また、すべての子どもに例外なく情報を届けることも掲げています。大人社会にも条例の理念を広く浸透するには、子どもの声に耳を傾け、子どもの存在を認めていくこと等、社会への啓発が大切です。

子ども劇場千葉県センターの事業は、すべて「こども基本法」の理念に叶った事業です。昨年度事業を通し、子どもの声、姿、笑顔を見ることで大人の意識が変わった瞬間をたくさん見てきました。

25年聴き続けてきた「チャイルドライン千葉」や「ママパパラインちば」は、専門性を身につけた、謙虚で志の高い受け手ボランティアの存在があります。傾聴事業では、声を聴くと同時に、当事者の置かれた現状を変えるべく社会に発信し、課題解決につながるよう活かしています。

「子どもらしい表現の機会をすべての子どもたちに」と、団体正会員と共に、病院、学校、児童福祉施設、子育て支援センター等で、文化芸術体験事業を継続して実施しています。新たに、母子生活支援施設での実施も実現しました。自己表現や楽しい気持ち、困った気持ちやパフォーマーや友達、周りの大人に受け止められ認めてもらうことで、子どもは自然と笑顔になり、自己肯定感の向上や生きる力につながっています。教師や職員からは、子どもへの気づきも多く、子どもの成長発達の観点からも高い評価を得ています。県内の0歳からの子どもたちの文化体験の機会を創り、格差をなくしていく施策を強く望みます。

アートを活用した子育てプログラムが、0歳からの親子の愛着形成や、非認知能力を育てる子育て支援に、有効であるということが、当団体で蓄積したエビデンスで証明されています。我が子の姿に喜び、心が癒されて笑顔になる保護者、職員のニーズや満足度も高いことがわかりました。孤立しない子育てには多くの大人のゆるやかな連携が必要です。今年度は3市で、行政や子育て支援団体とネットワークづくりをめざします。

乳幼児期から切れ目なく、アートを活用する地域連携事業や文化芸術体験の交流などを取り組み、子どもを真ん中にして楽しみ理解する大人の輪を広げましょう。

(理事長：宇野京子)

2025年度の事業計画



●文化芸術を活用し、子ども自身の自己肯定感・非認知能力を獲得する活動

①文化庁受託令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

- *県内32校で実施する芸術家派遣事業
- ②子どもゆめ基金助成事業
 - *「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造しワクワクするQOL向上あそび体験交流2025」10か所
 - *「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自己肯定感向上のあそびの交流」12か所
 - *「出前で届ける子どものあそびアート*交流体験2025」5か所

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

①社会福祉振興助成事業(WAM) 「乳幼児親子のウェルビーイング向上のためのネットワークづくり」3市

- 子どもや養育者に寄り添い「傾聴」による当事者を支える活動
 - ①チャイルドライン千葉
 - ②ママパパラインちば
- ネットワーク事業
子ども系NPO、行政、個人、こども人権ネットちばとの連携

2025年度（第28年度） 通常総会終了

日にち：2025年6月11日(水)
時間：13時10分～15時30分
場所：千葉市民会館特別会議室2
正会員総数：45名
出席者数：出席38名 委任7名
すべての議案が賛成多数で承認されました。

■2年間の事業の重点課題として、全ての事業に、子どもの権利条約の理念と子ども観を入れ込んでいくことが確認されています。



大人のためのいのちと性のおはなし！

千葉市で起きた少年による刺殺事件、児童・生徒の自殺者数が昨年過去最多の 529 人に、児童相談所における児童虐待の相談対応件数も全国で 21 万件を超え過去最多と、いのちに関わる話は後を絶ちません。そこで、「いのちの授業」を昨年は 120 か所の学校やフリースクールで性教育が入った授業を子どもたちに行っていて、生きることを肯定し、どのいのちも認め合える「大人版 いのちの授業」をウィットにとんだパワフルな人間味あふれる語り口でおはなししていただきました。



講師 鶴岡利江子さん(一般社団法人千葉県助産師会 助産師・思春期保健相談士)

日時 2025 年 6 月 11 日 (水) 10:00~12:00 参加者数 67 人

略歴

整形外科・形成外科勤務を経て助産師に。千葉県医療技術大学校助産学科卒業。総合病院産婦人科病棟勤務後、習志野市の新生児訪問に従事。現在は、勤務施設(マタニティヨガやスイミングの健康管理・産婦人科クリニック勤務)で妊産婦さんと過ごす時間を大切にしつつ、いのちの大切さを伝える講座を幼稚園・小学校で、「生と性の健康講座」という、いのちと性の健康を伝える講座を小中学校・高校・PTA家庭教育学級・専門職団体・フリースクール等で開催。その他「育児講座」等を公民館や関連施設で開催。

性のおはなしはまず知ることから

性のおはなしは、ちよつと苦手な人もいるかもしれませんがね。でも皆さんは、大人なのでまずは知ってほしいです。わからない所は、ネットや書籍で調べてみるとうまく入っていきそう伝えています。心と体がいのちに関わることで、だんだん悩みが深くなります。ホルモンがぐつと上がったとき、自分だけでは解決が難しいことがでてきます。体の違いを知っているとトラブルを防ぐこともできますし、友人を助けることもできる。だから子どもたちに「今聞いといて考える時間を作ってね」って話を始めます。

生まれてくる力を生み出すおはなし

《いのちの誕生 いのちがけて生まれてきた》

人間の体は、38兆ぐらいの細胞の塊なんですけど、始まりは卵子(0.1mm) 1個なんですよ。精子(0.06mm) が合体してこの1個の受精卵が細胞分裂をしたのが皆さんです。子どもたちにはこの大きさから始まったということ。あなたがお母さんのお腹の中にいる時から努力したことで、今日息をしているのも、泣くこともお腹の中で練習してたんだよ ということ。そして、「いのちをかけて産まれてきたあなたには価値があるんだよ」って伝えます。これは、あなたの力なんだよ。すべて生まれる力と・育つ力と・生きる力なんです。

いのちの元にある「性」のおはなし

「心」が「生」と書いて「性」。性教育は健康で幸せに心が生きる教育です。

性教育の3つの原則

- ① 性を肯定的にとらえる
- ② 性を科学的にみる
- ③ 性の多様性を理解する

「あなたはあなたのままでいい」と言うと、心と体が違う人には、そんなふうに言われたくない気持ちがある。だから「あなたはあなたの生き方でいいよ」と伝えていきます。違いを認められたら幸せだよ。

《性教育はいつからするの?》

性のおはなしは生まれた時から始まっています。オムツ交換でウンチをほめられたり、お風呂や着替えなどでかけられた言葉が性教育の始まりです。

《自分の心からだけは自分のもの》

生まれながらに持っている人としての権利や体の権利自分の体の自己決定権があって、境界線(バウンダリ)と言って、この中に誰が入ってきていいか、を決めるのはあなただけなんです。

《自分と相手を守る心の距離感・体の距離感》

どちらも自分で決められます。仲の良い相手でもいつも自分と同じ気持ちとは限りません。お互いを尊重して、それが守られない時、こわいと感じたら「いやだと言う」「その場を離れる」「大人に話す」これを子どもに教えていかないといけない。特に写真。勝手に撮って送っちゃう。送られちゃう。小中学校で多い相談内容です。載せてもいいかを聞かないといけないし、合意も必要です。合意の練習を日頃から大人がしていくと、子どもが身につけていきます。

大人が知っておきたいこと

《包括的性教育に関する国際的指針 (国際セクシュアリティ教育ガイダンス)》

ユネスコが作成した、性を人権の視点でとらえ、幼い時から体系的に学ぶ。若者の性行動が慎重化する

・日本では2023年4月から文部科学省が「生命(いのち)の安全教育」を始めている。

・「セクシャルプレジジャー宣言」が世界性の健康学会で「安全」「健康」に楽しむ性の権利として出された。

《子どもたちに伝えたい》

世界や日本の動きの中で、SOSを出せる(相談・受診)、ノーと言える自分とノーを聞ける自分。自分は安心か?安全か?守られているか?考える力をつけてほしいと思っています。

性を健康に生きるために

性に関することは人権ですよ。性を健康に生きるために、基本は子どもから聞かれたら、ごまかさず・おこらず・少しづつ繰り返す。この3つです。「いい質問ね」「一緒に調べよう」と「聞いていいよ」のメッセージを送ります。性をタッチして「いかゆいの?」と聞いて、必要なら洗いや拭き方を見直す。問題なければ、触り方やマナーを伝えます。突然、性的な言葉を使った時は叱らずに、原因を知って、性を否定しない言い方で、やっていいことを伝えます。

思春期とは、

心と体に急激な変化がある時期

大人脳への移行期。不安定でコントロールが未熟。思春期は脳を成熟させている時期で、不安がわいて、イライラして、人と比べて気になりやすくなります。

脳みそがホルモンのいたずらで臨戦状態だから、逃げるか戦うしかない。思春期の特徴は、マイナス感情を感じやすく、怒りに関するところは、過剰に発達しています。

いわゆる反抗期は意思表明期。中学生ぐらいになると自分のやりたいで自分のタイミングが出てきます。だから「反抗期じゃないか?」の意思だよ。気持ち言葉で伝える練習期でもあります。

大人にできること

ただただ否定せず聴いてあげるが一番。肯定的、共感的にきいてもらおうと受け止めてくれた体験は、マイナス感情を克服し、自信につながっていきます。できていることに注目して「ありがとう よくやっていね 見ているよ 助かる!」の言葉かけると安心する。そうしないと何かをやらかして、注目を受けようとするんです。



相談できる連絡先

- ・(社)日本家族計画協会
「思春期LINE相談」
- ・性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891
- ・チャイルドライン
- ・にんしんSOS ちば



鶴岡さんが紹介してくださった国際基準の本の数々



参加者の感想

- ◇自分が妊娠、出産した時のことを思い出し、頑張って生まれてきてくれたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいになった
- ◇初めてこのテーマの講座を聞ききました。本当にびっくりです!
- ◇「あなたはあなた、あなたは大切」心に残りました。知らないことも多々あり、話を聞いて、とても勉強になりました。性について大事なことが、みんなも聞いたらいいなと思いました。
- ◇今回も素晴らしくて、人間愛に満ちていて、生きている今に感謝して生きよう! また出会う親子へも伝えたい!
- ◇自分が大切な存在だということを子どもたちが実感することが一番の性教育なんだと思いました。

「千葉市こども・若者基本条例」を知ろう！話し合っ活かそう！」

2025年4月1日、若者を含む公募市民、子どもに関する事業の従事者、学識経験者20人の検討委員で審議された条例が施行されました。「こども真ん中」の理念が、実際のプロセスで、具体的にどのように込められているか、講演と発言の中からたどります。

- ★2025年4月13日（日）13:30～15:30 千葉市生涯学習センター
- ★参加者：76名
- ★基調講演：宮葉信之さん（前千葉市こども未来局こども企画課長）
- ★発言者：村山直さん（条例検討委員・こどもの権利検討委員長・弁護士）



千葉市こども・若者基本条例 前文

全てのこどもや若者は、おとなと同様に、独立した一人の人間として、基本的人権のほか、自分らしく健やかに成長し自立し、幸せな生活を送るための様々な権利を持っています。ところが、実際には、こどもがおとなから傷つけられたり、他のこどもからいじめを受けたりすることが多くあります。そのため、こどもが持っている権利について、おとなもこどもも、十分理解することが必要です。そうすることで、おとなはこどもをもっと大切にしなければいけないと考え、こどもは幸せな生活を送る権利が自分にも他の人にもあり、お互いを大切にしなければいけないことに気づきます。また、こどもは、成長の途中で、時には、わからないこと、できないこと、まちがえることもあるので、まわりの人の支えが必要です。保護者をはじめ、まわりの人は、一人一人のこどもの個性に気を配って寄り添い、言葉だけではなく、表情やしぐさにも注目し、こどもが愛され、守られていると感じられるよう、必要に応じて手を差し伸べなければなりません。中でも、病気や障害などがあるこどもについては、まわりの人や社会の理解や協力が大切です。そうすることで、こどもは毎日を安全かつ、安心して過ごし、自分らしく健やかに成長することができます。加えて、こどもは成長して若者としての時期を過ごしますが、若者といっても、学校で学んでいる人、働いている人、おとなとして生活を送る人や、成長の過程にある人など様々な人がいます。

中には、社会的な経験が少ないことや、こどもの頃に育った環境の影響などで、問題を抱えてしまう若者がいます。そのような若者が、それぞれの立場で社会に参加し、自分らしく幸せな生活を送ることができるように、まわりの人や社会が支えることも大切です。全てのこどもや若者は、みんな大切に、かけがえのない存在です。そのため、こどもや若者が誰一人として取り残されることなく、健やかに成長し、社会に羽ばたくための充実した毎日を過ごすとともに、おとなと一緒に現在を生きる仲間として、成長に応じて、また、一人一人の状況に応じて、社会の一員としてそれぞれの役割を果たすことができる社会の実現が望まれます。全てのこどもや若者が将来にわたって幸せな生活を送ることができる社会を実現するため、国は、日本国憲法及び児童の権利に関する条約等の考え方にしたがって、こども基本法（令和4年法律第77号）というきまりをつくりました。本市においても、こども基本法の目的などを踏まえ、全てのこどもや若者が自分らしくいきいきと健やかに成長し自立できる社会を、こどもや若者、おとなと一緒にやってつくっていくことを約束するためこの条例を制定します。

＜参考＞「千葉市こども・若者基本条例」で検索すると、第41条までの全文を読むことができます。

宮葉信之さん基調講演
こども・若者の参加で条例
制定に向け取り組んだ

■検討委員会を、計9回、更に集中的・専門的に審議するため4つの部会を設置し計7回開催した。

- ①「こども」について特定の年齢で途切れないよう規定すること
- ②「若者」についても条例の対象とすること
- ③条文についてやさしい言い回しを心がけ、特に前文については小学生でもわかる表現に留意すること

■機運醸成のためのシンポジウムを開催
こども・若者と市長・有識者のパネルディスカッションで、中高生5人参加。参加者105人はテーマごとの3分科会で話し合った。

- ①こどもの権利侵害と相談対応
- ②こども・若者の社会参画
- ③こども・若者の居場所

★主な意見
子どもの権利に関してこども自身や大人への周知啓発のほか、先生への研修が必要・社会参画について、こども・若者が学ぶ機会を確保すべき

■小学生以上を対象としたアンケート調査を実施

・抽出校を選定し各学校において専用端末を活用。保護者には連絡システムを活用。抽出校以外や市立高校には各学校を通じて周知、特別支援学校等に各学校と協議のうえ実施



その他、市ホームページやSNSでの
広報、関係団体等を通じて周知

・回答数の合計23610人

★主な調査結果

- ・概ね3割の子ども、概ね8割の若者が
困難を抱えている
- ・大人や養育者の概ね半数が、子ども、
若者の権利が十分に守られていないと
いう認識

■子どもの参画事業を実施

(1)「子ども・若者の力ワークショップ」
(小2〜中3) 参加した22人の提
言

★主な意見

- ・子どもの権利に関するかるた大会を開
催し子どもの理解を深めるべき
- ・大人には市政だよりや閲覧板等で啓発
すべき

(2)「子ども・若者市役所」を実施

- ・参加者…高校生〜大学生。
- ・活動回数…対面で2回、オンラインで
2回

★主な意見

- ・学校の授業において、年齢に応じた社
会参画の取組みを強化すべき
- ・子どもや若者のための多様な居場所を
整備すべき

■パブリックコメントを実施

- ・当事者である子どもからも意見を
提出してもらえよう、条例案と一緒
に子ども向けの資料をHPで公表
- ・提出された意見数178件、大学のゼミか
らの提出もあった。

★主な意見

- ・子どもと若者の年齢について、目安で
あっても具体的に区切るべきではない
- ・子どもと若者を区別せず「子ども・若
者」のように表記すべき
- ・子どもの権利に関する救済の仕組みを
規定することは評価できる
- ・「自立」という言葉の使い方に留意す
べき

■11月20日をきょうしつ週間を「千葉市こども週間」に制定。

- ・年代別に小学校低学年用、小学校高学
年以上用、おとな用の3種類のリーフ
レットを作成
- ・学校現場におけるギガタブ活用による
周知啓発を検討
- ・視覚効果を活用し、理解を深めてもら
うため、動画を作成し、ホームページ
等で公開

千葉市 子ども・若者基本条例制定



2025年4月施行

今後の施策に注目!

村山直さん発言



制定までに重視された「どうし
たらすべての子どもに届くか」
の視点は、今後の運用上も大切

付度なく、いろいろな意見が飛び交う検
討委員会、良い条例ができた。公募委
員で、若者・大学院生や障害のあるこ
どもの保護者も一生懸命意見を出した。
子どもが参加したシンポジウムでは、「み
んな意見を言うことを諦めている」「ま
ず、聞いてもらえない、言ったとしても
反応がなく諦めている」とのことで深刻
な現状を痛感した。

■「子ども・若者の幸せのために」

(権利検討委員会での主な意見)

- ・すべての子どもに等しく権利があるこ
と、一人として「例外がないこと」
- ・最善の利益は個々の子どもによつて
「異なること」
- ・子どもが「未就学の段階から」権利に
ついて知る、権利を守られる、権利を
行使する経験を積むことができる環境
づくりや関わりが必要であること。
- ・子どもが自身の権利について知り成長
発達の段階に応じて経験を重ねられる
よう、支援が大切
- ・いきなり意見表明はできない。日常の
意見表明・自己決定が大切。
- ・権利侵害の禁止を宣言するだけでなく
防止や権利救済のために周囲の大人等
が対応すべきことを明確にすることが
重要である

- ・禁止するだけでなく、起こらないた
めに何をするかを明記する
- ・子どもに対する必要かつ相当な範を
超える人権制約は謙抑的(控えめ)
でなければならぬ(校則)
- ・子どもの権利保障を推進するため、
課題を抱えた家庭に対する支援も大
切にすること
- ・子どもたちに権利のことについて知
る機会を設けること
- ・子どもの権利擁護に資する市民の活
動が継続的にかつ安定して広がって
いくための支援が必要
- ・子どもに関する施設の運営にあたり
子どもに関連するすべての事項につ
き子どもの意見表明及び参画する機
会を設けることが必要
- ・子どもの施設における安全配慮義務
について明示し、施設職員等の理解
を深める取組みが必要

■千葉市「子どもの権利救済委員制 度」ができた。

子どもの権利に関する相談・救済の
申し出ができる。独立した第三者的
な立場で調査・関係機関との調整・
権利侵害があれば是正、改善要請、
勧告、制度に関する改善への意見表
明ができる。

■千葉市は、運用開始に向けて動き始め ている。

この条例は土台であり、肉づけはこれ
からです。ちゃんとウオッチして意見
を出していただきたい。



AI時代の今こそ「センス・オブ・ワンダー」を

社会福祉法人千葉ベタニヤホーム国府台母子ホーム 施設長 花島治彦

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、子育てや保育環境を激変させました。感染防止の3つの密防止により、抱っこができなかったり、マスクで表情が見えなかったりしたことは、親子間の愛着形成や保育施設での遊びや育ちへの影響は大きいと思います。「空気の読めない」、「人の気持ちがわからない」子どもや若者が最近、増えていると聞きます。コロナ禍の影響もあるのではないのでしょうか。

臨時休園が長期化し、在宅ワーク中にタブレットに子守りや子育てを肩代わりさせざるを得なかったご家庭もありました。デジタルネイティブの子どもたちは、外出制限中にどんどんスマホや携帯ゲームを使いこなし、自然と触れ合ったりする機会を失いました。

コロナ禍を過ぎた今、「センス・オブ・ワンダー」を子どもたちに授けてほしいと願わずにはいられません。『センス・オブ・ワンダー』（新潮社、上遠恵子訳）の著者レイチェル・カーソンは、「センス・オブ・ワンダー」とは、「神秘さや不思議さに目をみはる感性」と言っています。

また、「知る」ことは、「感じる」との半分も重要ではない。消化する能力がそなわっていない子どもに事実をうのみにさせるより、子どもが知りたがるような道をきりひらいてやるのが大切、「美しいと感じる感性、新しいもの、未知なものにふれたときの感激からよびさまされた好奇心からもっと知りたいと思って身につけた知識はしっかりと身につく」と語ります。

コロナ禍で様々な行事が中止になる中、劇団を招いて観劇会を行ったことがあります。舞台上で繰り広げられる歌や演技に子どもたちの目はキラキラ、演者との掛け合いがどんどん盛り上がり、歓喜の声が上がりました。動画では得られない双方向のリアルなやりとりは、まさに「センス・オブ・ワンダー」の瞬間でした。生成AIやバーチャルが急速に進化する今こそ、子どもたちや子育てに「生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激に満ちあふれた瞬間」を大切にしませんか。

「たとえ明日……」

聖愛乳児園 副園長 藤巻 学



東日本大震災発災から数か月後、ボランティアをきっかけに児童養護施設で子どもたちの養育支援に携わり、2年前から0歳から概ね3歳頃までの乳幼児が暮らす乳児院に移りました。今まで以上に子どもたちを取り巻く状況や、子育てに奮闘する親御さん達の状況、それに対する必要な支援とは何か？といった俯瞰した視点を持つつつあることに今は感謝しています。

乳児院には様々な事情で家庭では養育できず、親元から分離された子ども達が暮らしています。毎日のように児童相談所から新生児や生後数か月のお子さんの一時保護依頼があります。直接的な暴力というよりは、養育環境が整わない（入所前、場合によっては母親の胎内にいた時から安心安全が保証されない環境）ことによる入所が急増しています。そうした子どもたちは愛着対象者である母親や家庭から分離されたトラウマを抱えています。乳児院において求められるものは様々ありますが、生育歴の中で受けた傷を回復するケアが重要です。外界への不信、自己否定といった「基本的不信」の中生きていく子どもたちに、「基本的信頼」を育むためには絶対的に守られ受け入れられている体験と共に、子どもたちが望むような愛情のかけ方、養育者との一体感（子供たちを丸ごと受け入れ“いいんだよ”のメッセージを送り続けること）が必要となります。

子ども劇場千葉県センターのパフォーマーの方々の芸術プログラムは私も2度子どもたちと体験しましたが、自由なダンスや工夫を凝らした遊びの空間そのものが、子どもたちの心の安全基地となり、「えっ!!普段引込み思案のあの子が!!」というような意外かつ活発な探索行動へとつながっていました。そして、周りの大人からの、すごいね！よくできたね！楽しいね！といった、肯定的な言葉がけで、さらに子どもたちの表情はキラキラと輝いていました。こうした体験の積み重ねが、自立に向け、困難に直面した際に周囲と強調して乗り越える、いわゆる非認知能力を高めることに繋がると確信しています。大変だとは思いますが、今後も継続して活動を続けられることを強く願っております。

この文章を綴っているさなかにも、出生数の減少や他国間での戦争といったニュースがセンセーショナルに飛び込んできます。今ある、そしてこれから生まれ来る命を我々大人が大切に育てていく社会を目指し、「たとえ明日地球が滅びるとしても、君は今日リンゴの樹を植える」少なくとも私はそうした精神で、子どもたちの福祉（＝幸せ）に携わっていこうと考えています。



赤い羽根共同募金は、みなさまの寄付が団体への助成額に直接反映される取り組みです。「チャイルドライン千葉」と「ママパパラインちば」の傾聴事業が「傾聴のライン」を知らせる広報事業」として選ばれました。こども家庭庁の「こども基本法」「こども大綱」には、当事者(子ども・養育者)の声を聴くことの重要性が明記されています。その施策の一翼を担えますよう、精進を重ねています。アドカード・ポスター配布等は、当事者の手元に直接届く周知として大切に取り組んで参ります。



皆様の温かい募金とご支援・ご協力をどうぞよろしく
お願いいたします

募金受付期間：2025年10月1日から2026年3月31日



「傾聴のラインを知らせる広報事業」



- 1 チャイルドラインフリーダイヤル (0120-99-7777) 番号および、チャットのQRコードを明示したアドカード 170,000 枚とポスター500 枚を広報手段として作成する。
- 2 アドカードは市町村教育委員会を通じて、生徒 60 万人の内中学生に 170,000 枚を、ポスターは中学校 388 校、高等学校 181 校のうち 500 校に配布する。
- 3 千葉県教育委員会、県内 54 市町村教育委員会、私立学校協会の協力を得て各学校へ届ける。

- 1 「ママパパラインちば (電話番号 043-204-9390)」の情報が当事者に届くようアドカードを 170,000 枚作成する。
- 2 県内 54 市町村の子育て支援課を通じて、保育園 幼稚園 子育て支援施設、保健センター、親子の居場所で配布。また教育委員会を通じて、全校児童または 1 年生の家庭に配布する。
- 3 千葉県小児科医会、千葉県歯科医師会、県社会福祉協議会の協力を得て地域の小児科医院、歯科医院、54 市社会福祉協議会へ配布依頼する。

18歳までの専用通話
うれしいことも、かなしいことも、なんでもはなしていんだよ! **チャイルドライン千葉**

チャットをする **電話をかける** ネットでんわではなす

QRコード **0120-99-7777** アプリをダウンロード
*Wi-Fiをおすすめします
App Store Google Play

通話無料
まいにお
16時~21時

主催: NPO法人 子ども劇場千葉県センター
後援: 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
このカードは赤い羽根共同募金の助成により作成されています。

あなたをひとりにはしない・させない! 「ママパパライン」
「ママパパラインちば」®

子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお聞きします。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなしてください。電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを!

043-204-9390
毎週全曜日 10:00~16:00
キャンペーン: 2026年2月2日(月)~2月7日(土)
6日間毎日 10:00~16:00

<18歳までの子どもの声を聴く 子ども専用電話 チャイルドライン千葉>

創設して25年になりました。チャイルドラインにつながる子どもたちの声は“生きている価値がない”“生きる意味がわからない”などの表現も多くあり、生きる意味、今ここにいる意味を問う表現、話を多くききました。かつては、友だちにどう思われているか、どう見られているかに揺らいでいる気持ちを話す子どもが多くいましたが、最近は友だちとしてどう距離をおきながら付き合っていくかという自分と友人との距離感について話す子どもに出会います。社会状況は変わりましたが、「話を聴いてほしい。受け止めてほしい。分かってほしい。」という子どもの思いは変わっていません。

<子育て中の養育者の声を聴く ママパパラインちば>

創設して24年になりました。静かに、ゆっくりと、相手の言葉に耳を傾け「聴く」ことが、今社会で大きな役割を果たしています。昨年にも増して、不登園、学校への行き渋りに加え、発達心配、子どもとの日常生活で疲れ切っていること等、解決策や先の見えない不安をかかえた電話が増えています。混沌とした社会の不安は、子どもを産むことへの不安につながり、親子間、夫婦間、ママ友へのいら立ちや怒りとなって、思わず暴言を吐いてしまい、関係を壊し自分を悔いています。育児に参加している父親からの電話が増加しており、時代背景の変化を感じます。どの声からも「誰かに言いたい・聴いてもらいたい」という思いが伝わってきます。



「仲間増やしプロジェクト」始動

力を抜いた子育てママのつながりをつくりたい！

子どもネット八千代の事務所近くに大規模なマンションが建設され、入居まで半年と迫ったとき、「今がチャンス！」と一大決心。子育て世代が多く集まるこのタイミングを活かし、もっと多くの人と活動を楽しみたいという思いから、2024年10月、「仲間増やしプロジェクト」がスタートしました。

子ども文化最前線

特定非営利活動法人子どもネット八千代
理事長 越後久美子

まずはやってみよう！

新たに八千代市へ転入してくる方や、新興住宅地に住む子育て世代を対象に、新年度のイベントカレンダーを早々に作成し、子どもネット八千代の事業と連動して動けるように計画を立てました。また、会員の皆さんに「入会のきっかけ」や「団体の良さ」を尋ねるアンケートを実施して入会のヒントを集めました。

毎月1回、2時間の会議では「仲間増やし」に特化した話し合いを行い、これまでにないアイデアも次々と生まれました。「まずはやってみよう！」という姿勢で、市内のイベントや自治会活動にも積極的に参加するようにしました。

さらに、ホームページからの入会導線を整備し、紙ベースの入会案内もリニューアル。ホームページも新たに更新して24時間いつでも申し込める仕組みも整えました。

「Little こねっと」から広がるつながり

現在、入会が増えているのが、子育て支援事業の0.1歳親子のあそび広場「Little こねっと」です。今年度は、子育て中のママたちが安心してつながれるよう、開催中は期間限定の会員になってもらい、この間は、普通の会員として同じサービスを受けられるようにしました。「Little こねっと」終了後も継続してもらえよう声かけをしていく予定です。

そしてこの取り組みと「仲間増やしプロジェクト」が連携したことで、乳幼児を持つ親子の入会が増加。プロジェクトチームの声かけスキルも向上しています。



「動きやすさ」が魅力のサークル活動

子どもネット八千代には、市内に23のサークルがあり、それぞれが最小単位として自主的に活動しています。毎月開催される「サークル長連絡会」での情報共有が、各サークルを通じて全会員へと伝わり、全体で情報が共有できるようになっています。

芋ほり、クリスマス会、森あそび、おせち作りなど、やりたいことを気軽に企画し、仲間との交流を深めています。演奏会や人形劇など、広く市民に参加を呼びかける大規模な企画も実施中です。また、生活スタイルに合わせて「個人会員」制度もあり、毎月郵送で情報を送っています。

最近では、LINEによる情報共有や、フォームを使つての申し込みなど、共働き家庭にも配慮した「参加しやすい動線づくり」を整えてきました。新しい会員さんを「どのサークルに入ってもらおうか」と新たな心配ごともあります。



八千代で子育て 子どもネット八千代

子どもネット八千代は、子どもたちが学校や部活、塾だけでなく、ここでもたくさんの人と出会い、成長できる「もうひとつの居場所」になれたらと願っています。親子が安心してつながり、気長に子育てを続けられる拠点のひとつとして、私たちの活動を活用していただければ嬉しいです。

これからも「子どもたちがさまざまな体験を通して人と関わりながら、心豊かに育つ地域社会をつくる」ことを目標に、活動を続けていきます。

編集後記：新年度の方向性を決める総会を挟んでの今号の編集でした。「こども基本法」制定以来、県内で初めて施行された「千葉市こども・若者基本条例」の前文は、「これは自分たちに関係することが書いてある」と子ども、若者が思える書きぶりです。生命の誕生に立ち会う助産師さん、乳幼児の養育に携わる児童福祉施設の方々からのメッセージ、地域で子育て中の家庭を繋ぎながら体験の種まきするNPOの事業の紹介、どれもこれも豊かです。改めて「こども真ん中・ウエルビーイング」でつながる一年にしたいと思います。



●県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。

第109号別冊 <2025年8月～11月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ CAN青芸	君がいるから	9/14	14:00	志津市民プラザ4階大会議室	佐倉	5歳～大人
◇ 劇団うりんこ	クモばんぼとぎんのくつした	9/27	17:45予定	もりんぴあこうづ	成田	年長児～大人
◇ 劇団風の子	ちえんじ・図書館のすきまから	10/26	15:00	八千代市市民会館大ホール	八千代	4歳～大人

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ブーク	スイミー	9/7	15:30	船橋市海神公民館講堂	船橋	3歳児～大人
☆ 影絵劇団かしの樹	走れメロス/シルエットファンタジー	10/5	未定	全日警ホール	市川北	小学生～大人
☆ 人形劇団むすび座	ニルスのふしぎな旅	11/30	14:00	流山市文化会館大ホール	流山	3歳児～大人
☆ 人形劇団ひばぼたあむ	かえるくんかえるくん	11/30	11:00	新習志野公民館	ならしの	未就学児

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ 児玉カルテット	オータムジャズコンサート	9/23	14:00	勝田台文化センター	八千代	小学生～大人
♪ 太鼓と芝居のたまっ子座	どうぶつ忍者太鼓	10/26	14:00	蘇我コミュニティセンター	千葉中央・北	幼児と大人

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ ななふく本舗	浪曲 シンデレラ	8/24	15:30	千葉市ハーモニープラザ	千葉中央	高学年～大人
◎ ワールドアサンテファミリー倶楽部	サブリミット サーカス忍者ショー&ワークショップ	10/11	13:30	グリーンスタジオ	市川中央	幼児～大人
◎ ラストラダカンパニー	サーカスの灯	10/13	未定	四街道市文化センター	四街道	4歳～大人
◎ 斎とう組・緑寿	今みて新しいサイレント映画パート4	11/23	未定	市川市文化会館大会議室予定	市川中央	小学生～大人

団体名	団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 田山おやこ劇場	● NPO法人 田山おやこ劇場	04-7152-0446	● みはま舞台芸術を楽しむ会～子どもから大人まで～	080-1138-1635
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-250-4120
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-377-8490
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● 浦安子ども劇場	● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
● NPO法人 船橋子ども劇場	● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● やちまたおやこ劇場	043-442-0084
● NPO法人 ならしの子ども劇場	● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子どもるーぷゆぐほ	0438-63-2850
● 白井子ども劇場	● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 子どもネット八千代	● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉順子ども核発	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
● NPO法人 子どもプラザ成田	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387		

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ 体験活動	▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	8/1.6.20.22.27.29	四街道四区集会所	四街道
	▪ おやこキャンプ	8/2~4	奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳
	▪ みんなでキャンプ	8/2~3	神奈川県みの石滝キャンプ場	千葉中央
	▪ 遊んで、食べて、感じる、わくわくキャンプ！	8/3~5	奥多摩中茶屋キャンプ場	市川中央
	▪ こどもひろば(物々交換/竹細工)	8/3	勝田台文化センター	八千代
	▪ お菓子の家	8/6	印西市そうふけ公民館	いんざい
	▪ 子どもキャンプ	8/9~11	秩父橋立川キャンプ場	佐倉
	▪ 夏のデイキャンプ	8/23	青少年キャンプ場(船橋市大神保町)	船橋
	▪ わんぱくすまいる夏祭り	8/24	流山市生涯学習センター	流山
	▪ 「9月0日大冒険」子ども応援隊(全6回)	8/28他	成田市内公共施設他	成田
	▪ みんなあつまれ！夕涼み会～ミニえんにち～	8/30	行徳駅前公園研修室	市川行徳
	▪ デイキャンプ	8/30	浦安市少年の広場	浦安
	▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	9/3.5.10.12.19.26	四街道四区集会所	四街道
	▪ ちびっこパンや	9/19,10/17,11/22	JR西千葉駅前 ふくろう広場	千葉中央
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ 流しそうめん	9/20	こどもユニットWakaba事務所はらっぱ	Wakaba
	▪ 千葉北キャンプ	9/20.21	佐倉草ぶえの丘キャンプ場	千葉北
	▪ 出会い体験夢ひろば休日企画 レインスティック	9/21	四街道公民館	四街道
	▪ 子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2025」	9/27.28	千葉県立現代産業科学館	市川中央
	▪ お泊り会	9/27~28	うら・らめーる	浦安
	▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	10/1.3.8.10.15.22.24	四街道四区集会所	四街道
	▪ 子どもがつくるまち「ミニいちかわ2025」	10/18.19	行徳駅前公園	市川行徳
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ チャンバラごっこ	10/19	こどもユニットWakaba事務所はらっぱ	Wakaba
	▪ 工作あそび(ボンドスライム・砂絵)	10月下旬頃	印西市市内公民館	いんざい
	▪ 大人企画(クッキング)	10月下旬頃	印西市市内公民館	いんざい
	▪ おやこキャンプ	11/2~3	手賀の丘少年自然の家	流山
	▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	11/5.7.12.14.19.21	四街道四区集会所	四街道
	▪ ミニえんにち&バザー	11/9(雨天なら16)	行徳駅前公園	市川行徳
	▪ アフターデイキャンプ	11/16	江戸川河川敷	市川中央
	▪ 子どもの創造表現フェスティバル2025	11/24	八千代市市民会館大ホール	八千代
	▪ お出かけ鑑賞会	11/30	流山市文化会館	浦安
▪ 子ども一ふまつり	11/30	袖ヶ浦市民会館	袖ヶ浦	
高学年の活動	▪ 第37回子どもキャンプ	8/8~11	秩父 中津川キャンプ場	流山
	▪ 子どもキャンプ	8/9~11	清和県民の森	四街道
	▪ 高学年キャンプ	8/11~13	奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳
講演会 学習会 ワークショップ	▪ つぶやきりんご～子どものことばと子育てトーク～	9/4,10/2,11/6	みんなのおうち(流山おやこ事務所)	流山
	▪ 永野むつみさん講演会	9/28	谷津公民館 講義室	ならしの
	▪ 竹の響きを楽しむ音遊び 竹楽器ワークショップ	11/30	南行徳市民センター予定	市川行徳

きらきらわくわく情報

2025年8月～11月

活動	日程	場所	主催団体
子ども一歩のおやこ文庫 わっくぶっく	8/6,22,9/3,19,10/3,15,11/7,19	子ども一歩袖ヶ浦事務所	袖ヶ浦
おしゃべりほっとスペースびよびよひろば(0歳～)	8/7,9/11,10/9,11/13	鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央
乳幼児のママたちのリラクソココヨガ	8/9,23,9/6,20,10/4,11,11/8,22	Keiyo GAS Community Terrace 他	市川北
乳幼児おやこサークル ぴよんぴよんキッズ	8/21,9/11,25,10/9,23,11/13,27	信篤公民館	市川中央
みんなで子育て！ほこぼこカフェ(0歳～)	8/21,9/18,10/16,11/20	市川市南八幡3丁目自治会館	市川中央
おしゃべりほっとスペースきらきらひろば(1歳～)	8/22,9/12,26,10/10,24,11/14,28	信篤公民館	市川中央
おやこサークル ☆ブレンジ	8/22,9/12,26,10/10,24,11/14,28	市川北地区事務所	市川北
お母さんのティータイムこーひーかつぷ	8/25,9/8,22,10/27,11/10	市川北地区事務所	市川北
アクティブキッズ 歩けるようになったら親子ふれあいあそび	8/28,9/11,25,10/9,26,30,11/13,27	稲毛区小中台地域福祉交流館他	千葉北
おやこサークルどようびにあそぼう	8/30,9/20,10/25,11/15	市川市内	市川北
絵本とあそびのひろば わくわくキッズ(1歳～)	9/2,10/7,11/11	市川市勤労福祉センター	市川中央
はっぴいスペース 乳児とお母さんのほっとすぺーす	9/4,18,10/2,16,11/6,20	稲毛区小中台地域福祉交流館他	千葉北
おやこサークル クレヨンクラブ	9/9,30,10/14,28,11/11,25	行徳駅前公園研修室	市川行徳
0～3歳児親子の居場所 ほっこりハウス	9/9,10/14,28,11/11,25	千葉中央おやこ劇場事務所	千葉中央
おやこ広場ゆったりりんりん わらべうたとおもちの広場、ねんねdeベビーマッサージ	9/10,10/29	長浦交流センター多目的室	袖ヶ浦
1～3歳児親子の遊び体験活動	9/11,18,10/30,11/6,20	千葉市子ども交流館アリーナ	千葉中央
乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	9/11,25,10/9,23,11/13,27	神納コミュニティセンター他	袖ヶ浦
乳幼児ワークショップ「かめきちくん、どこいくの？」	9/16	行徳公民館	市川行徳
乳幼児のママたちのベビーダンス	9/19,10/17,11/8,12/19	Keiyo GAS Community Terrace	市川北
乳幼児親子の居場所Littleこねっと 食育講座	9/29	大和田公民館	八千代
子育て応援メッセ2025inふなばし	10/19	船橋市中央公民館	船橋
乳幼児親子の居場所Littleこねっと 図書館探検	10/29	大和田公民館	八千代
乳幼児親子の居場所Littleこねっと はみがき講座	11/20	大和田公民館	八千代
子育て広場 はっぱのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba

乳幼児の活動

団体正会員と子ども劇場千葉県センター主催「舞台芸術・芸術体験企画への参加状況」データ

期間：2025/3月～6月 参加団体：11団体 企画数：22 参加者合計：3,472人

イベントの種類	企画数	子ども参加数	おとな参加数
プロによる舞台鑑賞	17	865人	2,214人
地域連携による舞台鑑賞	1	64人	73人
地域講師による舞台鑑賞	1	64人	76人
プロによる体験ワークショップ	2	46人	25人
地域講師による体験ワークショップ	1	19人	26人
合計	22	1,058人	2,414人

入力フォーム



<https://goo.gl/nkYxeS>

◆「連携とネットワーク」事業を「見える化」する目的のイベントの種類、今回は全種類が選ばれました。鑑賞例会の事前のとりくみとしての音楽のワークショップ。セミプロ人形劇団の公演は、おやこサークル会員、一般の幼稚園保育園小学1、2年で満席になった。地域のおはなしフェスティバルに参加している団体に依頼しての幼児・小学校低学年の歌とピアノと人形の公演は参加型の鑑賞だった。

◆各団体は総会の前後でもあり、年度をまたいだ3月～6月は比較的に企画の少ない時期だが、今年は大規模の舞台鑑賞をがんばり、参加者数を増やしている。2023年：1,855人 2024年：2,076人 2025年：3,079人

・大きいホールでのフルオーケストラやピアノリサイタル、中規模ホールでの近隣合同のとりくみ、法人設立20周年公演など、芸術文化に世代を超えて参加できる企画に今後も期待したい。

子どもと文化 イベント情報

- ◆ **遊んで食べて感じる わくわくキャンプ! 2025**
子ども実行委員の企画はじめ沢登りやマスカみ、野外炊事等、低高合同
8月3日(日)~5日(火)
場所：奥多摩中茶屋キャンプ場
対象：小学生親子、中学生、青年、大人
参加費：幼児(4~6歳)8,000円、小中高生10,000円、大人22,000円
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024
- ◆ **船橋子ども劇場 創立50周年記念鑑賞事業 「スイミー」人形劇団プーク**
9月7日(日)15:30開演/16:45終演
場所：船橋市海神公民館 講堂 (京成線海神駅徒歩2分)
対象：3歳~大人
参加費：子ども1,000円 大人2,000円 ペア(子ども&大人)2,500円
主催/(特)船橋子ども劇場
Tel.047-424-0851
- ◆ **永野むつみさん講演会**
完璧な子育てを目指さなくてもいいという永野さんのメッセージが子育ての負担を軽くし、子育てに優しいまなざしにつながります。
9月28日(日)10:00~11:30
場所：谷津公民館 講義室
対象：育児中の親、子どもに関わる大人
参加費：500円
主催/(特)ならしの子ども劇場
Tel.070-6556-8762
- ◆ **こどもひろば 物々交換マーケット/竹細工体験**
8月3日(日)①10:00~12:00 ②13:30~15:30
場所：勝田台文化センター
対象：幼児~大人(小3までは保護者同伴)
参加費：各回500円(保護者も必要)
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **出会い体験夢ひろば 休日企画 レインスティック工作あそび**
9月21日(日) 四街道公民館
対象：小・中学生 (要申込)
材料費200~300円(保険・登録代300円)
主催/(特)四街道子どもネットワーク
Tel.043-423-5381
- ◆ **サブリミット サーカス 忍者ショー&ワークショップ**
サーカス出身のガッツと元体操選手のヨーコのショーとワークショップは、忍者もサーカスも伝統芸能も楽しめます!
10月11日(土)13:30開演
場所：グリーンスタジオ
対象：幼児~大人
参加費：1,500円
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024
- ◆ **子どもるーぷの わくわくコンサート♪**
小澤綾子さん(うた)、土屋真穂さん(ピアノ)
夏休みにご家族で聴いてほしい!
8月3日(日)14:00~14:50
場所：袖ヶ浦市民会館 中ホール
対象：赤ちゃんからあなたまで
参加費：大人800円、子ども200円
主催/(特)子どもるーぷ袖ヶ浦
Tel.0438-63-2850
- ◆ **アフターデイキャンプ**
11月16日(日)
場所：江戸川河川敷
対象：幼児親子、小学生親子、中学生、青年、大人
参加費：幼児(4~6歳)500円、小中高生800円、大人1,500円予定
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024
- ◆ **子ども応援隊大募集!**
「9月0日大冒険」鑑賞会12/21を一から作り上げる特別な体験をしよう!
7/27から全6回(毎月1回)開催予定
8/28(木)は人形劇団ひとみ座バスツアー!
対象：小学生(参加できる日のみでOK)
参加費無料(別途、鑑賞会、バスツアー代等有料)
主催/(特)子どもプラザ成田
Tel.0476-29-1387
- ◆ **子どもがつくるまち ミニ☆いちかわ2025**
子どもの子どもによるあそびのまち
9月27日(土)28日(日)
場所：千葉県立現代産業科学館
対象：小学生~18歳
材料費：500円(1日につき)
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024
- ◆ **子どもがつくるまち ミニいちかわ2025**
子どもが選んだ店で働いて、お給料をもらってあそび、あそびのまち。
子どもスタッフが店長として世界に一つだけの店を運営、働きに来た子どもと一緒にまちをつくっていきます。
参加は当日受付します。定員800人
10月18日(土)10:00~15:30
10月19日(日)10:00~15:00
場所：行徳駅前公園
対象：小学生~18歳
19歳以上はボランティア(募集中)
材料費：500円(2日間有効)
主催/(特)市川子ども文化ステーション
Tel.047-395-7670
- ◆ **子ども創造表現フェスティバル ~ぼくたちの夢ステージ~**
出演者、舞台監督、音響、照明など全て子どもが担う
子どものための市民文化祭
11月24日(月祝)13:00~16:00
場所：八千代市市民会館 大ホール
対象：幼児~大人 参加費無料
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **人形劇鑑賞会 「ニルスのふしぎな旅」**
人形劇団むすび座の大型作品。
ニルスと一緒にラップランドの旅へお出かけください。
11月30日(日)14:00~15:10
場所：流山市文化会館 大ホール
対象：3歳~大人
参加費：大人3,000円 子ども2,000円
当日券500円増し
主催/(特)流山おやこ劇場
Tel.04-7161-3032

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは各主催団体をお願いします。